

Press Release

2018年11月8日

DSM 株式会社
www.dsmjapan.com

DSM、2018年度9ヶ月決算を発表

2018年会計年度における現在までの決算ハイライト¹

- 第3四半期是好調に推移し、前半9ヶ月間の好業績に貢献。
- 基本事業の売上高のオーガニック・グロース^注は8%増。
- 為替による大きなマイナス影響があったものの、基本事業における調整後 EBITDA の成長率は7%となった。
- 基本事業の ROCE は 130bps（ベースポイント）増の 13.6%を達成。
- 一時的なビタミン価格上昇が調整後 EBITDA の 2 億 9,000 万ユーロ上乗せに寄与。
- 調整後 EBITDA 合計は 34%増、当期純利益は 8 億 2,100 万ユーロ。
- 営業活動によるキャッシュフローは 51%増の 9 億 3,300 万ユーロ。
- 通期業績見通しに変更はない。

注： 買収・売却や為替レートの影響を除いた売上高成長率

主要暫定数値および指標²

単位：100万ユーロ	2018年1-9月		1-9月		増減（%）				
	基本事業 ¹	一時的な ビタミンの 影響	グループ 合計	2017年 報告値	実質既存 売上高	FX及び その他 ¹	実質 成長率 合計 ¹	一時的な ビタミンの 影響	グループ 合計
売上高	6,644	415	7,059	6,456	8%	-5%	3%	6%	9%
ニュートリション部門	4,278	415	4,693	4,151	9%	-6%	3%	10%	13%
マテリアル部門	2,215		2,215	2,132	7%	-3%	4%		4%
調整後EBITDA	1,162	290	1,452	1,086			7%	27%	34%
ニュートリション部門	847	290	1,137	786			8%	37%	45%
マテリアル部門	393		393	369			7%		7%
イノベーション部門	1		1	5					
コーポレート部門	-79		-79	-74					
EBITDA	1,124	290	1,414	1,032					
調整後EBITDAマージン	17.5%		20.6%	16.8%					

¹ 本プレスリリースで開示している基本事業の業績は、DSM が可能な限り正確に見積もった一時的なビタミンによる影響を修正した業績指標、売上高および調整後 EBITDA です。

² 調整後 EBITDA は、継続事業の業績を対象とした代替的業績指標（APM）です。

本リリースに関するお問合せ先

DSM（株）広報事務局（アズ・ワールドコム ジャパン株式会社内） 担当：水谷、中里
 TEL：03-5575-3221 / e-mail：atsutake@azw.co.jp（水谷）、kaoru@azw.co.jp（中里）
 DSM 株式会社 担当：龍、大木
 TEL：03-5404-8336 / e-mail：Shintaro.Ryu@dsm.com（龍）、Nahoko.ohki@dsm.com（大木）

CEO のコメント

DSM 社 CEO 兼取締役会長 Feike Sijbesma（フェイク・シーベスマ）のコメント：

「DSM は第 3 四半期も引き続き好調な業績を維持しており、通期業績見通しを達成することが確実となってまいりました。好調な基本事業のオーガニック・セールスおよび調整後 EBITDA 成長率が持続していることから、通期決算では 2018 年戦略計画の目標を再び上回る見通しです。

マクロ経済環境における懸念材料があるものの、ニュートリション部門とほとんどのマテリアル部門における業績は引き続き好調に推移していくと思われまます。当社は、この数年の間に策定した戦略計画により、栄養、健康、持続可能な暮らしの分野において、高い価値を創出するソリューション・ベースのスペシャルティ・プロダクトで構成される堅固なポートフォリオを構築いたしました。2019-2021 年は野心的な戦略を実践していく所存です。業界を上回るイノベーション主導のオーガニック・グロースおよびイン・オーガニック・グロースを継続していくことで、2021 年戦略計画の目標の達成が実現可能となるでしょう。」

第 3 四半期業績ハイライト¹

- DSM は好調な第 3 四半期決算を発表。
- 基本事業のオーガニック・セールス・グロースは 5%増と好調を持続。
- 為替によるマイナス影響があったものの、基本事業における調整後 EBITDA の成長率は 7%となった。
- ニュートリション部門（基本事業）：オーガニック・セールス・グロースは 7%増、調整後 EBITDA は 10%増。
- マテリアル部門：オーガニック・セールス・グロースは 3%増、調整後 EBITDA は 3%増。
- 一時的なビタミン価格上昇が調整後 EBITDA への 1,500 万ユーロ上乘せに寄与。
- 調整後 EBITDA 合計は 11%増。

主要暫定数値および指標²

単位：100万ユーロ	2018年第3四半期		第3四半期		増減（%）				
	基本事業 ¹	一時的な ビタミンの 影響	グループ 合計	2017年 報告値	実質既存 売上高	FX及び その他 ¹	実質 成長率 合計 ¹	一時的な ビタミンの 影響	グループ 合計
売上高	2,215	50	2,265	2,136	5%	-1%	4%	2%	6%
ニュートリション部門	1,438	50	1,488	1	7%	-2%	5%	3%	8%
マテリアル部門	723		723	706	3%	-1%	2%		2%
調整後EBITDA	391	15	406	365			7%	4%	11%
ニュートリション部門	283	15	298	258			10%	6%	16%
マテリアル部門	132		132	128			3%		3%
イノベーション部門	1		1	4					
コーポレート部門	-25		-25	-25					
EBITDA	370	15	385	343					
調整後EBITDAマージン	17.7%		17.9%	17.1%					

¹ 本プレスリリースで開示している基本事業の業績は、DSM が可能な限り正確に見積もった一時的なビタミンによる影響を修正した業績指標、売上高および調整後 EBITDA です。

² 調整後 EBITDA は、継続事業の業績を対象とした代替的業績指標（APM）です。

2018 年度の展望

DSM は、2018 年通期の見通しを据え置くこととしました。また、調整後 EBITDA の成長率は約 25%に達する勢いで伸び、この結果 ROCE も拡大する見込みです。この見通しの前提は以下のとおりです。

- 為替変動を考慮しない場合、基本事業の調整後 EBITDA は 2 桁台前半の成長率で伸びる。
- 外国為替のマイナス要因は、調整後 EBITDA を 7,000 万ユーロ程度下押しする。
- 異例なビタミン価格が設定されている環境下にあることに起因して、通期の調整後 EBITDA 合計に推定 2 億 9,000 万ユーロの上乗せ効果が見込まれる。

DSM - Bright Science. Brighter Living.™

Royal DSM は、栄養、健康、持続可能な暮らしの分野において事業を展開する「purpose-led」（目的主導型）のグローバル企業です。経済的繁栄、環境問題への取り組み、そして社会の発展を促進し、DSM と関わる全ての人々にとって持続可能な価値を創造します。DSM は、食品や栄養補助食品、飼料、パーソナルケアおよびアロマ、医療機器、環境に配慮した製品および用途、新たなモビリティとコネクティビティの分野において革新的なビジネスソリューションを提供します。DSM および関連会社の年間の純売上高はおよそ 100 億ユーロで、社員数は約 2 万 3,000 名、Euronext Amsterdam に上場しています。詳細については www.dsm.com をご覧ください。

* 本リリースは 2018 年 10 31日に DSM 社から発表されたプレスリリースを抄訳したものです。

将来予測に基づく記述

本プレスリリースには、将来予測に基づく記述が含まれています。これらの記述は DSM 経営陣による現時点での期待、推定、予測、および現時点で当社が入手可能な情報に基づいています。これらの記述には、予測が困難な特定のリスクと不確実性が含まれることから、DSM はその予測の実現については保証しません。また、DSM は本プレスリリースに含まれる記述を更新する義務を負いません。